

2025 年度 大学院入試（春季）

博士課程前期（経営学専攻）

専門科目 知識・情報マネジメント研究指導

---

**【合否判定の方法】**

提出書類および専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

**【合否判定の基準】**

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程前期課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2025 年 2 月 15 日

2 科目 知識・情報マネジメント研究指導（100 点満点）

3 出題意図

本試験は、経営システム科学の学際性を反映し、3 つの異なる領域（サービス・マーケティング、オペレーションズ・マネジメント、デジタルビジネス/情報システム）からそれ

ぞれ1題ずつ出題し、その中から1題を選択させる形式としている。この構成には、以下の意図がある。

(1) 専門領域への適性評価： 受験者が関心をもつ研究領域に関連する問題を選択させることで、その領域の基礎知識を正しく理解しているか、また問題に対する考察の深さはどうかを評価する。これは、入学後の研究テーマの設定や指導教員とのマッチングを見据えた重要な判断材料となる。

(2) 公平性の担保： 出身学部や実務経験は受験者によって多様である。全員に同じ問題を課すのではなく、自身の強みや経験を最も活かせる問題を選べるようにすることで、能力を最大限に発揮する機会を提供している。

(3) システム思考の評価： 3題は領域こそ異なるが、いずれも経営システムという観点(品質保証の仕組み、サプライチェーンの構造、販売チャンネルの変化)で捉え直すことを求めており、専攻のコアコンセプトであるシステム科学的アプローチへの理解度を間接的に問うている。

なお、各設問は単なる知識問題ではなく、「なぜそれが難しいのか」「その本質的な違いは何か」という「問いの構造」を内包している。受験者には、専門用語の定義を述べるだけでなく、その背景にある因果関係や構造的特性を、自分の言葉で論理的に説明することが求められる。

以上